

(様式第4号)

## 真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第7回真田地域協議会
2	日時	令和4年10月25日(火) 午後7時00分から午後8時15分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、金井由造 委員、木島徳行 委員、重倉政三 委員、清水由香 委員、高寺由美子 委員、滝沢博文 委員、田畑和秀 委員、中村すみ子 委員、堀内和子 委員、堀内正寿 委員、堀内靖子 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、宮島幸男 委員、柳沢泉 委員、柳沢芳明 委員
5	市側出席者	田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、皆瀬建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ <del>一部公開</del> ・ <del>非公開</del>
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年11月7日

### 協議事項等

#### 会議次第

1 開会 (進行：滝沢副会長)

2 会長あいさつ

3 センター長あいさつ

4 協議事項 (進行：田畑会長)

・事務局からアンケートのまとめについて説明

#### ①自治会の役員のみ手

・自治会連合会で今まさに議論されている大きなテーマ。11月に市政三者懇談会で議論されるため、その結果等についても地域協議会の場でも共有させていただきたい。

#### ②地域の活性化について

・地域の活力を生み出すイベントの継続を、地域の皆さんと作り上げていく

#### ③遊休荒廃農地対策について

・真田地域でも地域の特性と発展の方向性や自治センター目標管理上でも重点的に取り組んでいる。全国的にも課題となっている事柄なので、課題を共有し一緒に考えていただきたい。

#### ④有線放送廃止後の情報共有について

・この夏7月に開催された地域づくり委員会でも重点的に地域と話してきた。既に屋外スピーカの設置補助に向けた申請やスマートフォンを使った取組、電話連絡網の整備なども進んでいる。引き続きセンターでも情報発信のあり方について検討を進めていく。

#### ⑤地域の人材活用

人材バンクのような取組はこれまでのなかでも試されてきたと思うので、地域の皆さんと考えていければと思う。

#### ⑥福祉施設の今後について

・年度当初の真田地域の目標でもあったが、福祉施設については全市的な課題でもあり、今後も地域に合った目的の施設になるよう、様々な場で意見をいただきたい。

#### ⑦真田の郷まちづくり推進会議について

・まちづくり計画ができてからまだ日も浅いので引き続き様々な形で意見を交わしながら進めていただきたい。

#### ⑧真田地域の男女共同参画について

・多くの自治会役員がまだ男性だが、女性にも自治会運営など参画することで役員のなり手の課題にもつながっていきける。

#### ⑨移住施策、⑩空家対策

・本庁舎に担当課があり、地域の皆さんがなかなか新しい情報が入ってこない部分。このような協議会の場を通じて引き続き情報をお伝えしていきたい。

#### ⑪大河ドラマ終了後の観光施策

・行政や地域が連携して大河ドラマに向けた機運醸成を図ってきた。今後についても地域の皆様と考えていきたい。

#### ⑫地域意見の行政への反映について

・様々な機会地域協議会では意見をいただくと同時に市からの情報提供も行っている。また市では出前講座という仕組みもあるのでこの協議会でも市民協働という点で御意見をいただければと思う。

・田畑会長から、委員の皆さんからの意見の発言を求める

#### 【各委員からの意見】

【委員】人口減少や70歳まで仕事をする時代になる等、自治会の役員を引き受けることは難しくなっている。自治会自体が縮小しているので単一自治会で考えるのではなく、全体で考えて解決すべき課題。また、住民自治組織のまちづくり活動をもう少し知ってもらいたい。どのように住民に知らせたらいいのかを課題に思っている。引き続き意見を参考にしていきたい。

【委員】菅平の特性をみると経済的な部分になってしまう。例えば農業については、今年の夏場の野菜の値が安く良くなかったし、観光業についてもだいぶ戻りつつあるもののコロナ禍で夏場のキャンセルが多く厳しい状況が続くなど、色々な支援を受けつつも今は対策がないような状況。世間では（経済が）だいぶ戻ってきていると思うし、菅平はみんなでかんばっている。

【委員】今の一番問題になるのは自治会のこと。地域をみると、まず子どもがいない。つまり将来的に若者もいなくなり、自治会の役員どころか自治会が消滅するのが目に見えている。以前、この協議も関わった記憶があるが、上田市のコンパクトシティ構想というのかあった。市から最近その話を聞かなくなった。このような、市としての全体的な構想の中で話し合われるべき。自治会は成り立ってい

かず、消滅してしまうのではと危惧する。この協議会では、10年先のことを今から考えた協議を進めていくべき。今の目先の課題を否定するわけではないが、地域協議会がそういうことを考えていかなければならない。

【委員】自治会役員のなり手が無いことは、現職自治会長として実感している。国民年金は、60歳までの納付を65歳まで引き上げるようなニュースを聞いている。我々は余計に長く働かなくてはいけない。そんな中で高齢化や住民数の減など、役員のなり手のめどなどつかない。それに関連して、地域に空家が増えている。草が生い茂るなど生活環境にも日常的に影響がある。前回の荒廃農地の話もあったが積極的な活用が必要。行政、JA、地域が連携し、農業のできる環境をつくっていく必要がある。

【委員】私の自治会も役員のなり手が無い。30～40代がいないので色々な役がもう回ってくる。真田地域には、子どもの遊び場がない。上田公園、東御中央公園のような大きな遊具のある公園がほしい。

【委員】自分の所属していた団体はまさに役員のなり手が問題となり、行政や地域から様々な役を受けることがみな負担になり、この春に会を解散した。真田の郷まちづくり推進会議で竹の粉碎機を購入がうれしかった。

【委員】女性の役員登用について、昔から自治会役員に女性が入っていない。男女共同参画の考えについて、自治会の代議員や自治会長など女性を対象に含めれば、単純に2倍になる。なかなかそれが自治会の中に広がっていかないが、男女などという時代ではない時代にもかかわらず、もう少し女性の力や考え方が地域に広がっていけば変わっていく事もあるのではないか。協力し合える力をもっと地域を上げて変えていければと思う。

【委員】私はこれまで地域の役員をやってこなかったが、この協議会に参加して地域のことがいろいろ分かった。参加していなかったらただ毎日を過ごしていた。先のことを考えることが大事なのではないか。若い人が少ないといいつつ、地域にはまだ若い人もいる。地域に若い人が2、3世帯帰ってきて地元が賑やかになった。自分自身も地域に悲観的な考えを持っていたが、この人達のために、自分たちの世代が、今は、今できることをもう少し頑張っていきたいと思っている。今できることをこの場で考えていきたい。

【委員】2回目の自治会長を引き受け、自治会役員の大変さを実感している。小規模な自治会なので、あと2、3回は自治会長を引き受ける。先ほども女性の参画との発言があったが、頼もしく、願ってもないことだと思う。今だとまだ我々も頑張れる。今取り組まないと、どんどん地域の衰退が進んでしまう。

【委員】先日、4年ぶりの真田町一周駅伝が開催されて大会役員として参加した。皆、久しぶりで自分仕事を忘れていたとか、参加チームも少なくなってくるなど継続することの大切さを実感した。体育祭が無くなったことは残念と思っているが、無くなった以上は、地域の繋がりを維持していく何か他のことやって地域を活性化すべき。自分たちのような立場が舵を取って、声を上げてやっていかなければ地域の力が減衰していく。今後の地域協議会は、全体会だと意見を出しにくいので、3つくらいの分科会で話し合ったらどうかということをご提案させていただく。

【委員】子どもたちが一人ずつタブレット持って授業するのを見て驚き、私たちの世代とは考え方も大きく変わる。安心して暮らせるためにどうしたらと考えると、地域や自治会がもっと子どもたちや学校に関わっていかなければならないと感じる。

【委員】自分の世代からすると自治会に入らない人がいると聞いて驚いた。強制はできないとしても、地域のあり方として難しいことだが考えていかなければいけない。もう一つが真田総合福祉センターと真田老人福祉センターを統合するという案については、まだ具体的にはこれからということだが、両施設とも老朽化は激しく、お風呂が故障して使用できないという有線放送が良く流れる。早期に検討委員会を立ち上げたほうが良いと感じる。

【委員】地域協議会の役割の一つとして調査研究がある。住民自治や行政との共同によるまちづくりを達成するために「真田の郷まちづくり推進会議」「行政」「地域協議会」との連携を進めていくべき。

【委員】市が推薦依頼する自治会役員の選出については、市全体の自治会連合会でも議論され、自治会連合会の一致団結で市に対して見直しを投げかけている。また、真田地域の活性化につなげるために、女性の社会参加として自治会役員の女性参画については、自分の自治会でも協議したい。10年先、20年先の真田町の活性化していく姿にすべての事柄をつなげていく必要があると感じた。

【委員】見方を変えると、自治会が無くても不自由がないと思っている人が多いのではないかと。自治会が無い場合に困ることは何なのか、役割というのを整理してもいいかもしれない。

【委員】自分の自治会でも子どもが少なく厳しい。また、荒廃地が自分の耕作地の周りに多く見られるようになり心配している。このような土地の活用や利用したい人の繋がりは大切だと思う。防災への取組は色々な地域で工夫している取組を聞いてなるほどと思った。各自治会単位にあった消防団が、長・傍陽・本原の3分団に統合された。私の自治会では、防災への取組（毎月の各家見回り、防火水槽の泥上げ作業など）とともに、消防活動で続いていた地域コミュニケーションが希薄になるとして、自治会独自の自主消防隊（社会人で50歳までの男子）を組織している。有線放送が無くなるので、地域と行政が一体となって考えていなければならぬ。

【委員】私は真田が大好きだし、いいところを発信していきたいと思っている。移住先として、真田地域は人気があると聞いている。移住してくる若い世代が色々な取組をして「よそ者」と言われる人たちが活躍している。頑張っている人たちをもともと住んでいた人たちが活躍できる環境をつくってあげることや、行政と連携すること、行政のバックアップはとても大切。武石ではそういう体制だと聞いている。真田でも地域で若い世代を支えていけるようにしていき、地域の良さを高めていきたい。

【委員】私の周りでも若い人が帰ってきている。戻ってきてくれるということは地域を良いなと感じてくれているということ。自分たちのやっていることは間違っていなかったと感じている。そういった意味では、子どもたちのために自分たちに何ができるか、しっかり考えていければと思う。

## 5 報告・確認事項

- (1) 次回地域協議会の開催日程について
  - ・計画どおり 11月22日（火）19時からとする。
  
- (2) その他
  - ・特になし

## 6 閉会